



歳入は、すべての項目について、算定の根拠を明確にし、増額が見込まれるものについては、増額補正をしました。特に、骨格予算の編成段階では、算定が非常に困難でありました「地方交付税」「繰越金」は、今回、大幅に増額補正をしています。

歳出は、「保健・医療・福祉体制の充実並びに教育の振興」「第一次産業の振興」「情報の公開・共有化」「文化・スポーツの推進」の4本の柱を予算編成方針として、厳しい財政状況の中でありましたが、予算に反映しています。一方、普通建設事業の休止や年度間調整等計画内容の再検討など、事務事業の厳しい見直しによる減額を行いました。

なお、特別会計、企業会計については、特定事業としての必要性や法令または制度の規定があることから、当初予算で「通年予算」を編成しています。

以上の方針に基づいて編成した平成19年度一般会計の6月補正後の予算額は、211億4,810万円となり、これを前年度の当初予算と比較しますと、21億3,616万5千円の増額、率にして11.2パーセントの増となっています。

しかしながら、平成19年度における、前年度にはない4つの大きな事業「安岐町統合小学校等施設整備事業」「減債基金の取り崩しによる「くにさき総合文化センター整備事業」の繰上償還、決算剰余金の二分の一相当額を積み立てる「財政調整基金積立金」、合併特例事業債を財源とする「地域振興基金積立金」の合計額は、27億2,531万7千円で、この額を平成19年度の補正後の予算額から控除すると、184億2,278万3千円となり、これを前年度の当初予算と比較すると、5億8,915万2千円の減額、率にして、3.1パーセントの減となります。

また、一般家庭の貯金にあたる市の基金残高は、平成19年度の当初予算の段階では、前年度末と比

(単位：千円)

	参 考
年度末残高 ⑧=(⑥-⑦)	市民一人当たり 国東市 34,206人
29,066,917	850
13,222,973	387
42,289,890	1,236

較して、9億8,380万6千円減って、25億728万5千円となりましたが、6月補正後では、29億9,174万5千円となります。これに、新規に積み立てる地域振興基金5億2,700万円を加算すると、35億1,874万5千円で、これを市民一人あたりに換算すると、約10万3千円となります。

一方、借金にあたる一般会計の地方債残高は、本年度末、290億6,691万7千円で、市民一人あたり、約85万円となります。これは、基金の一人あたり10万3千円の約8.3倍にもなります。

(表「基金残高の状況」「地方債残高の状況」参照)

この一般会計に、国民健康保険事業特別会計や老人保健医療事業特別会計など、13の特別会計の予算を加えた予算総額は、413億6,224万9千円となります。

なお、6月補正後の現予算は、今後の税の徴収状況、地方交付税の確定、入札等による事業費の減額、医療給付費の動向等により、大きく変わりますが、年度末までに補正が必要となりますが、予算の節減に努め、基金の取り崩しや市債の借入を少しでも減額するよう努力します。

## ■ 予算比較

(単位：千円)

区 分	①平成19年度	②平成18年度	増減比較 (①-②)	
	通年予算額 (6月補正後)	当初予算額	増減額	増減率
A. 通常の予算比較	21,148,100	19,011,935	2,136,165	11.2%
B. 平成19年度の4つの新規事業の合計 (1~4)	2,725,317	0	2,725,317	皆増
1. 安岐町統合小学校等施設整備事業	(1,564,826)	0	(1,564,826)	皆増
2. くにさき総合文化センター分繰上償還	(423,491)	0	(423,491)	皆増
3. 決算剰余金の財政調整基金積立	(210,000)	0	(210,000)	皆増
4. 地域振興基金積立金	(527,000)	0	(527,000)	皆増
C. 4つの新規事業を控除した予算比較 (A-B)	18,422,783	19,011,935	△ 589,152	△ 3.1%